

# 報 道 資 料

令和4年3月28日  
安全・安心まちづくり推進課  
(奈良県交通対策協議会事務局)  
安全・安心まちづくり推進係  
担当 徳丸、田邊  
ダイヤル 0742-27-8730  
内線 3332

## 令和4年 交通安全功労者・功労団体の表彰について

奈良県交通対策協議会（会長 奈良県知事）では、令和4年交通安全功労者・功労団体を下記のとおり決定し、4月4日（月）に開催する「春の交通安全県民大会」において表彰いたします。

この表彰は、交通安全の推進について、多年にわたり顕著な功績のあった方、及び交通安全活動を積極的に推進し交通事故防止に顕著な成果をあげ他の模範と認められる団体を、県内各市町村（地区）交通対策協議会などからの推薦に基づき選考し、決定したものです。

今回表彰されました功労者・功労団体は、今後も地域における交通安全活動推進のリーダー的存在としてご活躍が期待されます。

### 記

（敬称略）

個人の部（1名）	池田 重司（桜井市）
団体の部（3団体）	宇陀市交通安全母の会（宇陀市）
	社会福祉法人奈良社会福祉院郡山西こども園（大和郡山市）
	奈良県立桜井高等学校書道部（桜井市）

※ 活動概要については、別添のとおりです。

## 令和4年 交通安全功労者・功労団体活動詳細

(個人の部)

	功 労 の 概 要
池田 重司 (いけだ しげじ)	<p>被表彰者は、平成12年に桜井市立城島小学校区代議員、平成18年に同校区理事に任命され、交通安全意識の普及啓発を通じて地域の交通安全に尽力している。合わせて、平成11年から桜井地区地域交通安全活動推進委員に任命され、通学路における学童の安全誘導や街頭指導を継続するなど子供の交通事故防止にも献身的に取り組み、平成23年には同推進委員協議会会長に推挙され、地域における交通安全運動の第一人者として活躍している者である。</p> <p>昨今、コロナ禍の影響により、従来のような対人型の啓発活動が制限される中、本年度の春の交通安全県民運動期間中には、桜井警察署や地元高校生（県立奈良情報商業高等学校）等と連携を図り、古代衣装を纏った高校生等とともに、主要交差点でドライバー等の視覚に訴える広報啓発活動を実施するなど、交通安全運動への高い参加意識を持ってボランティア活動に取り組んでいる。</p> <p>人格円満で他の模範となり、次世代を担う若者の育成にも力を注ぐなど交通安全活動を通じて社会参加する姿勢は高く評価されるもので、活動目的、内容、継続性、主体性等において顕著な功績が認められる。</p>

## 令和4年 交通安全功労者・功労団体活動詳細

### (団体の部)

	功 労 の 概 要
宇陀市交通安全母の会	<p>宇陀市交通安全母の会は、桜井警察署や宇陀市、関係機関・団体と密接な連携を図りながら、交通安全県民運動期間中の啓発活動を中心として以下のような各種交通安全活動に積極的に取り組んでいる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 春と秋の交通安全運動期間中、広報車で市内を巡回し、車載マイクを活用して交通安全の呼びかけを行うとともに、道の駅や商業施設等においてドライバーや通行人に、手書きの交通安全メッセージを添えた啓発物品を配布している。</li> <li>○ 令和3年秋の運動時は、新型コロナウイルスの影響で街頭活動を中止したが、市内小中学校や幼保こども園等で啓発物品を配布するとともに、市役所や各地域事務所窓口に啓発物品を設置し、広報啓発に努めた。</li> <li>○ 交通安全運動期間中、市内小中学校や幼保こども園において立哨活動を行っている。</li> <li>○ 令和3年8月に市内でキッズゾーンが設置された際、ゾーン内の主要交差点にストップマークを貼付するなど、通学路等へのストップマーク貼付に取り組んでいる。</li> <li>○ 理事会等の場を活用して、交通安全啓発のDVDを上映するなどの研修を行い、所属する小中学校や幼保こども園での交通安全教育等にフィードバックしている。</li> </ul>
社会福祉法人奈良社会福祉院 郡山西こども園	<p>郡山西こども園は幼児保育に携わる事業者として、保育のなかで交通安全教室を開催し、社会ルールを身につけることで交通事故防止に取り組んでいる団体である。</p> <p>また、交通安全県民運動期間中だけではなく、警察をはじめ、各関係団体と連携して啓発活動を実施するなど子どもたちだけでなく、その保護者などの大人の交通事故防止にも努めている団体で他の模範と認められる。</p> <p>そして、これらの活動を設立から今日まで長期間にわたり、継続して実施し、交通安全に多大な貢献をしている。</p>
奈良県立桜井高等学校 書道部	<p>桜井高等学校書道部は創部73年の歴史を持ち、これまでに公益財団法人日本書芸院等主催の全日本高校・大学生書道展において、団体最優秀校及び個人書道展大賞を受賞するなど、「書の名門校」として知られる伝統ある団体である。</p> <p>昨今、コロナ禍の影響により、従来のような対人型の啓発活動が制限される中、書道部の生徒が桜井警察署と協働し、警察職員から交通事故の悲惨さや交通安全の重要性を学び理解を深めるとともに、「悲惨な交通事故を1件でも多く無くしたい」という思いを込めた「書く」という創作活動を通じて、書道作品（交通安全標語：歩行者の未来を守る運転を）を揮毫するなど、交通安全運動への高い参加意識を持ち、生徒が自ら考え、意欲的なボランティア活動に取り組んでいる。</p> <p>その他にも、毎朝、運動部・文化部等のクラブ部員が交替で校門前に立ち、登校する生徒に対する「あいさつ（声かけ）運動」を行うことで全校生徒に対する交通安全意識の向上等に取り組むなど、次世代を担う若者達が、交通安全活動を通じて社会参加する姿勢は高く評価されるもので、活動目的、内容、継続性、自主性等において優秀と認められる。</p>